

プログラム案

「持続可能な観光」国際シンポジウム コンセプト（案）

【基本コンセプト】

観光は、地域の経済成長を支え、貧困撲滅や雇用創出という効果に加え、旅先での異文化交流による相互理解を深め、多様性と平和をもたらす。さらに、自然との触れ合いを通じて、資源の有効活用や気候変動などの環境に対する問題意識を高め、地球規模の課題について考える機会を得ることができる。

一方で観光の不適切な管理・運営は、伝承文化・歴史遺産の毀損や、脆弱で貴重な自然環境と生物多様性の破壊、劣悪な労働環境などを招く原因となるため、こうした問題に対処するため、計画性と責任のある持続可能な観光の普及・浸透が喫緊の課題となっている。

我が国は 2015 年 9 月、25 年ぶりに国連世界観光機関（UNWTO）理事国入りを果たしており、「観光先進国」を目指す上で、理事国活動を通じて観光分野のグローバル課題に取り組み、国内観光産業の競争力強化に繋げるものとしている。

このような中、2015 年 10 月に国連は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組の一環として、2017 年を「持続可能な観光国際年」と決議し、これを受け、UNWTO は、関連行事等の実施を通じて持続可能な観光への取組の重要性について周知を図った。この機運を活用し、更なる促進を図るため、引き続き 2018 年以降も持続可能な観光の重要性を浸透させるように各国に要望している。

これらの情勢に鑑み、理事国である我が国としても、SDGsの目標達成に貢献及び各国と観光政策に係る議論を主導・共有する観点から、UNWTO と共同して「持続可能な観光」をテーマに国内外の関係者を交え議論・共有する機会を設け、今後の取組のヒントとなるような観光テーマ別のベストプラクティスを国内外に発信するとともに、開催都市における国際相互交流の推進を目的とした国際会議を開催する。

【テーマ】：「地域に根ざした産業を観光素材として活用した未来の観光を考える」

<テーマの背景>

近年、世界の旅行形態が団体旅行から個人旅行へ変化し、旅行の内容としても、地域独自の文化・慣習を実際に体験する体験型観光へのニーズの高まりがみられ、旅行者の持続可能な観光に対する意識の変化が起こっている。こうした状況において、持続可能な観光地づくりのためには、地域独自の産業といった、従来、観光には必ずしも活用されてこなかったコンテンツを観光資源として活用することで新しい価値を見出すこと、また、事業者、DMOなど様々な関係者を巻き込み、観光資源を生かしつつ観光地づくりを行うことが重要な課題となっている。

<コンセプト>

奈良県では、従来奈良墨や林業といった地域に根ざした産業を観光資源として十分に生かされていなかったが、現在では、様々な関係者と協力しつつ地域に根ざした産業を観光資源として生かす取組及びその観光資源を生かし、持続的な地域経済の発展の実現を目指している。本シンポジウムでは、地域に根ざした産業を観光資源として生かし、地域において持続的な経済発展を実現している地域モデルについて参加各国・地域の間での共有を図る。

1. 会議概要

- 日程： 1日目：2月4日（月）10：00～12：00
2日目：2月5日（火）10：00～17：00
- 会場： 奈良春日野国際フォーラム「菟」（奈良公園内）

2. プログラム

2月4日（月）

- 10:00-10:15 開会式
- 10:20-10:50 講演Ⅰ【UNWTO 幹部】
「持続可能な観光国際年」後の「持続可能な観光」への取組とSDGs達成に向けた展望
- 10:50-11:20 講演Ⅱ 伊藤 忠通 奈良県立大学学長
「持続可能な観光」に関する奈良における取組事例
- 11:20-11:50 講演Ⅲ 北岡 伸一 JICA 理事長（予定）
SDGs達成と「持続可能な観光」について ～ JICA、地域、国際社会から ～

2月5日（火）

- 10:00-10:30 基調講演 久保 成人 日本観光振興協会理事長
産業観光を用いた滞在型観光と地域経済の持続的な発展
- 10:40-12:00 パネルディスカッションⅠ
地域に根ざした産業を観光資源とする取組について ～ 事業者の立場から ～
・産業を新たな観光資源としている事例について着目し、主に観光を産業として活かしている事業者の取組を紹介しつつ、事例を共有する。
【スピーカー】
➢ 地元スピーカー（産業関係者）
➢ 地元スピーカー（産業関係者）
➢ 国定 勇人 三条市市長
➢ タイ国より産業観光関係者
【モデレーター】
吉兼 秀夫 京都外国語大学グローバル観光学科教授
- 13:15-14:30 特別セッション「持続可能な観光」の実現に向けた取組 ―海外、若者から―
・中央アジア5ヶ国の観光政策担当者が自国の魅力、PR、招請事業で得た知見の発表を行い、学生側が政策担当者とのディスカッションを通じて、「責任ある旅行者」になるための意見を発表する。
【参加者】
中央アジア5ヶ国の政策担当者、
奈良県立大学生（予定）、UNWTO 賛助会員の大学生（予定）
【モデレーター】
UNWTO 賛助会員（予定）
- 14:30-14:50 コーヒーブレイク

14:50-16:40 パネルディスカッションⅡ
産業観光を観光資源とするための地域づくり、観光地づくり
・産業を新たな観光資源としている事例について着目し、主に観光を産業として活かしている事業者の取組を紹介しつつ、事例を共有する。

【スピーカー】

- 中西 康宏 奈良県デジタルズビューロー専務理事
- 坪井 泰博 JTБ 取締役（訪日インバウンド担当）
- 木本 昭宏 北九州産業観光センター会長
- 台湾迪化街関係者

【コメンテーター】

ルース・マリ・ジャーマン (株)ジャーマン・インターナショナル CEO

【モデレーター】

田尾 大介 (株)ツーリズムデザイナーズ代表

16:40-17:00 全体まとめ